

子ども学の源流を次世代につなぐ

# 幼児の教育

特集

問い直そう、保育の中のあたりまえのこと

シリーズ

子どもが育つ場所を訪ねて

実践研究

保育事例をめぐる対話

夏 2011

since 1901

## 子どものまなざしの向こうに

目に見えて写っているものの向こうに、  
見る者の心に映るもうひとつの子どもの世界が  
聞こえてこないでしょうか。



「上まで  
行けそう？」

表紙の図柄は、お茶の水女子大学附属幼稚園内にある  
スタンドグラスの模様をデザイン化したものです。

## 目次

### 写真

子どものまなざしの向こうに

### 目次 プロローグ

大震災を受けて 浜口順子

### 特集

問い直そう、保育の中のアたりまえのこと2  
子どもの「やりたい」という気持ち

座談会 安部富士男・佐藤寛子・浜口順子

子どもの「やりたい!」とは? 溝口義朗

アート活動の「やりたい」をどう見るか 八木紘一郎

「自分から」することの意味 西原彰宏

### シリーズ

子どもが育つ場所を訪ねて

川崎市子ども夢パーク 宮里暁美

### 実践研究

保育事例をめぐる対話

N子とヒマワリの種 上坂元絵里

種を蒔き・芽生え 清水永一

気ままな園芸生活のススメ 森光康次郎

人の輪につなげようとする知恵を生かした活動が私の周りにも多く生まれています。

今回の震災は、原発事故による被害と不安をも伴う結果となりました。このような事態を生じさせた近因とは別に、効率的で便利な生活を追い求め続け、その条件基盤や影響に対する周到な配慮を欠いてきた大人たちの生き方に猛省が促されているのではないのでしょうか。生命を尊重する社会、子どもが夢を描くに足る社会とはどんなものなのか。この根本的な問いを、保育・幼児教育学のベースに据え直す好機に、私たちは今立ち会っているのだと思います。

### 連載1 再読・倉橋惣三

倉橋惣三の「子どもの生活」理解を探る

— 保育から小学校教育へ「談話」と「国語科」との連続性 —

児玉衣子

75

### 連載2 保育随想

園のくらしを育む 14

— 泣きにみる育ち —

秋田喜代美

80

### 連載3 自然の目

ツブキ先生の虫のつぶやき 植物編

— 虫を呼ぶカラスウリの花のテクニック —

津吹 卓

84

### 報告

第26回OMEF世界大会 in スウェーデンに参加して

片山知子

88

### 論考

ミンダナオの子どもたち、日本の若者たち

松居 友

92

### 論考

アーカイブズ散策(2) 関東大震災直後の記事から

— 第23巻第12号(1923年12月)より —

浜口順子

97

### 情報・読者のページ

ひろば

71

### エピソード 奥付

WEBページ・次号予告ほか

72

## 大震災を受けて

浜口順子

三月十一日東日本大震災がわが国を襲い未曾有の悲劇的狀況がもたらされました。この災害により不幸に遭遇された多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。

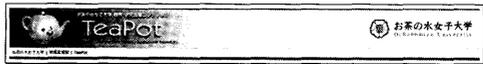
この文章を書いている今、地震から三週間ほどたっていますが、テレビでは連日、長引く冬の寒さとライフラインの回復の遅れ、物資や生活サービス等の不足などが報じられています。東京において何ができるのか焦りすら感じますが、それでもできることを考えては、物資提供、募金、ボランティアをしたり、さらにはそれを幾重もの

# エピソード

東日本大震災の直後に、フィンランドの保育施設を視察する機会があった。クリッカ市という小さい街に行くと、会う人ごとに「地震、大丈夫でしたか?」と声をかけてくださる。ホテルで見た新聞には、震災の様子が大きく報じられてもいた。

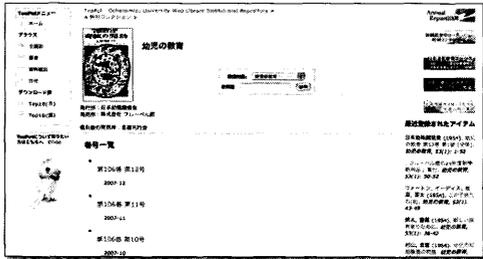
今回の視察を共にしたタンペレ大学留学生 I さんの話によると、地震の数日後に日本人学生とその関係者のために今回の震災について語る場を大学側が設けてくださったという。先生方は<sup>うなず</sup>頷きながら話を聴いてくださり、蜜蝋のろうそく等をいただいたとのこと。また、その場で日本のために千羽鶴を折ろうというアイデアも出され、後日の募金活動に結び付いたそうである。

人と人が柔らかく繋がる<sup>つな</sup>がるところに安心があることを深く知る旅となった。(佐治)



『幼児の教育』バックナンバーを WEB ページで公開中。

<http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/handle/10083/3705/bulletin/>



明治 34 年発行の創刊号から、現在、平成 20 年発行の第 107 巻までご覧になれます。

なお、自由投稿、「ひろば」への情報などもお待ちしております。

nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp まで。

## 次号予告

## 幼児の教育 秋号 2011年9月刊行予定

**特集** 問い直そう、保育の中のあたりまえのこと  
—「子どもに寄り添う」とは?—

**シリーズ** 子どもが育つ場所を訪ねて  
— 木の花幼稚園 —

**実践研究** 保育事例をめぐる対話  
— 虫を探している時間 —

## 幼児の教育 夏号 第110巻 第5号

平成23年7月1日発行  
編集発行人/浜口順子  
編集担当/田中恭子  
発行所/日本幼稚園協会  
〒112-8610  
東京都文京区大塚2-1-1  
お茶の水女子大学附属幼稚園内

発売所/株式会社フレーベル館  
電話/03-5395-6657(編集)  
振替/00190-2-19640  
印刷所/図書印刷株式会社  
定価/750円(本体715円)  
©日本幼稚園協会 2011 Printed in Japan

編集協力/フレーベル館  
編集スタッフ/菊地知子  
佐治由美子  
佐藤寛子  
宮里晴美  
吉岡晶子

● ご購入のお問い合わせは、フレーベル館までお願いします。03-5395-6613(営業)●



# 保育が変わる！

照沼晃子、平田智久／著

# 0歳からの造形遊びQ&A

## 造形遊びの「困った！」 に答えます！

造形遊びの“困った！”に答える実践本。子どもの見方のヒントや素材の常識、保護者への伝え方を紹介します。

26×21 cm 80ページ 定価 1,890円 (税込)

子どもの見方・  
保育の視点がわかる！

環境設定の具体的な  
アイデアや言葉かけの  
ポイントなど、実践に  
役立つ内容です。

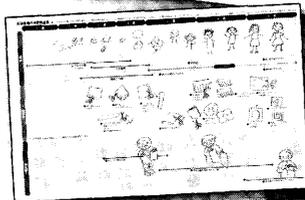


10926



素材の選び方や  
楽しみ方がわかる！

「乳幼児期の技能発達表」  
付き。造形遊びにおける  
子どもの育ちが  
わかります。



キンターブックの

フレーベル館

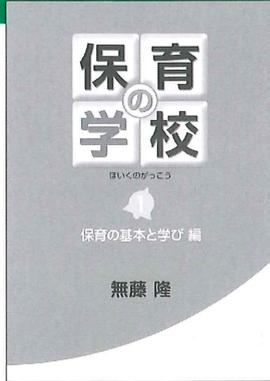
好評発売中

# 保育の学校

平易な言葉でわかりやすく。  
保育をふりかえり、考え、  
深めていくための16講義。

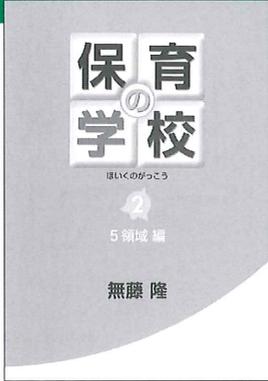
無藤 隆 / 著

21×15cm 136ページ 定価各 1,365円(税込)



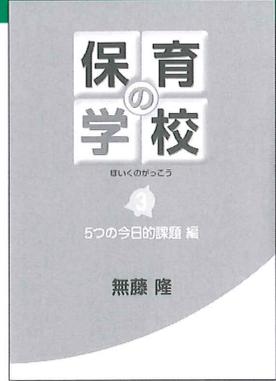
**保育の基本と学び 編**  
10931

養護と教育の一体的保育、教育課程・保育課程と指導計画や、教・図形、文字などについての講義。



**5領域 編**  
10932

「健康」「環境」「人間関係」「言葉」「表現」の5領域と、体験の多様性と関連性についての講義。



**5つの今日的課題 編**  
10933

子育て支援、評価、小学校との連携、特別支援、食育、保育の5つの今日的課題についての講義。

**Point**  
保育を考えるために、16のテーマを設定。すべての講義が  
**予習→講義→まとめ→小検定**  
で構成されているので、園内研修にも最適です!

う言葉が入っているわけです。  
◆図1 教育と福祉の関係

子どもの最善の利益  
ところで、子どもの最善の利益という表現についてですが、この、最

▲図解でわかりやすく!

2)「子どもの最善の利益」を英語ではどう表記するでしょう。選びなさい。

1. good interest 2. better interest 3. best interest

3) a. b に入る言葉を選択肢から選びなさい。

保育所は、( a ) でなければならない、という表現をしています。教育学を勉強する、この、( b ) という言葉がややこしい言葉であるということを知る必要があるというのですけれど、例えば、教育関係においては、幼稚園は教育の場なので、教育費の中に、( b ) という言葉はあるにはあるのですが、( a ) という表現はないと思っ

◀ポイントを再確認!

定価 七五〇円(本体七一五円)☆

キンダーブックの  
**フレール館**

くわしくはフレール館代理店・特約店・支社・支店・営業所または本社営業総括部 (03) 5395-6608にお問い合わせください。